

令和5年度

第一鹿屋中学校区小中合同研修会

《 会 順 》

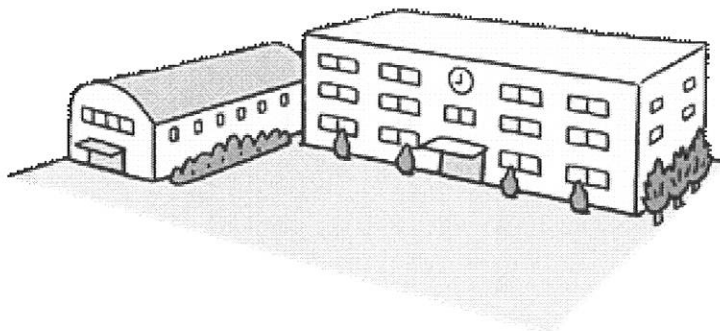
- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 1 受付（職員室玄関） | 14:00 ~ 14:30 |
| 2 全体会（オンライン 多目的教室 進行：西原小教頭） | |
| (1) 開会のあいさつ（西原小学校小林校長） | 14:30 ~ 14:35 |
| (2) 趣旨説明・諸連絡（西原小教頭） | 14:35 ~ 14:40 |
| (3) 指導講話（第一鹿屋中学校 吉岡校長） | 14:40 ~ 15:00 |
| テーマ「問題行動、不登校への対応の在り方（保護者への対応等も含めて）」 | |
| 3 分科会Ⅰ | 15:05 ~ 16:30 |
| (1) 学習指導部会（多目的教室 4グループ） | |
| 生徒指導部会（理科室 2グループ） | |

【会順】

- | | | |
|-----------------------|---------|-------|
| ① 開会のことば | 15:05 | |
| ② 各学校から（1学期の現状・課題等） | 15:05 ~ | 15:20 |
| ③ 意見交換（共通実践事項の設定・確認等） | 15:20 ~ | 16:15 |
| ④ まとめと指導 | 16:15 ~ | 16:30 |
| ・ 学習指導部会（野里小学校米村校長） | | |
| ・ 生徒指導部会（西原台小学校田中校長） | | |
| ⑤ 閉会のことば | 16:30 | |

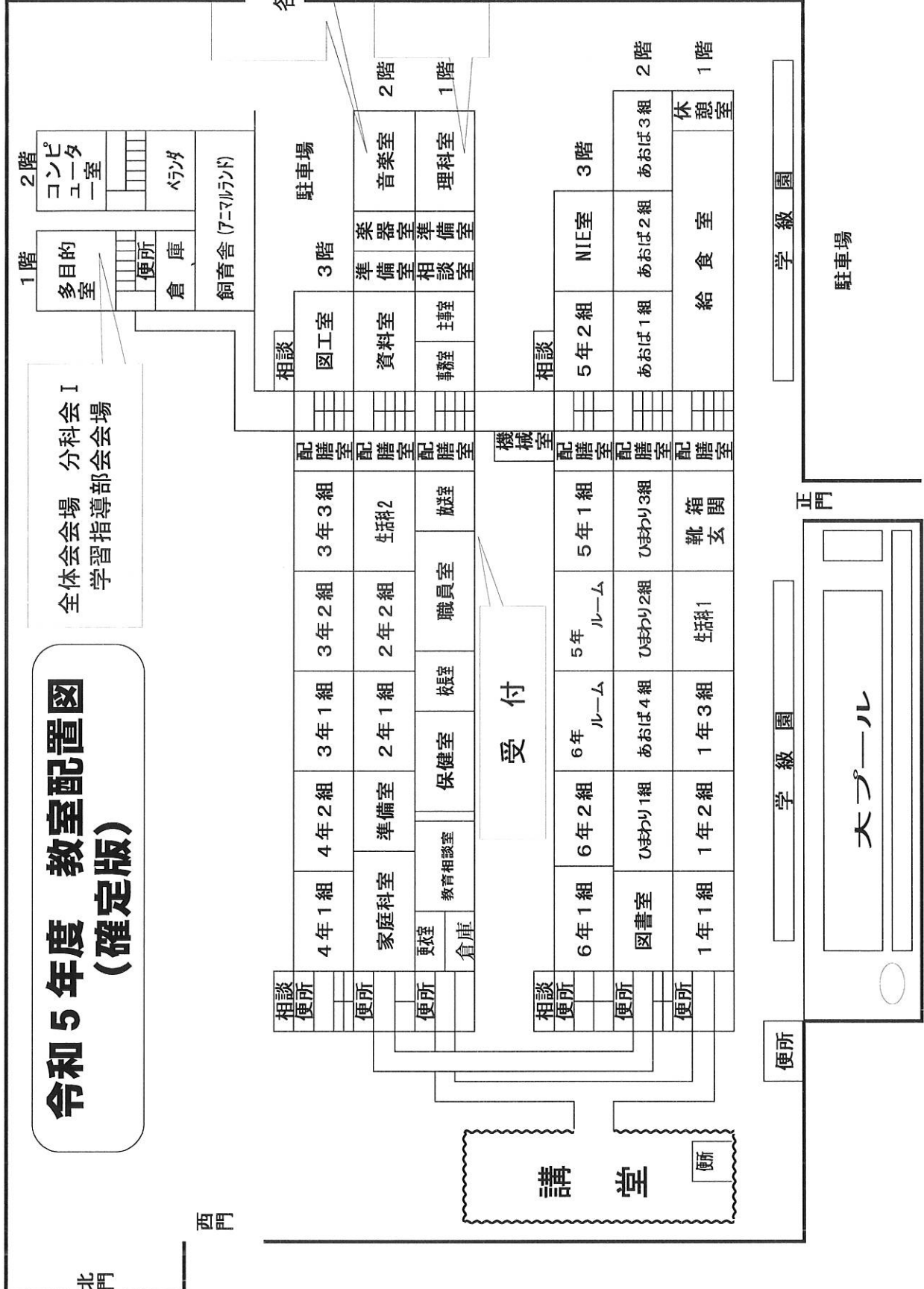
- | | |
|---------------------------|---------------|
| 分科会Ⅱ | 16:10 ~ 16:45 |
| (2) 各教科部会 | |
| 国、数、英、保体 | |
| ※ 中学校各教科主任を中心に資料を基に協議を行う。 | |

※ 各分科会毎に終了



令和5年8月1日（火）
於：鹿屋市立西原小学校

令和5年度 教室配置図 (確定版)



小中一貫教育合同夏季研修会資料

第一鹿屋中

学校

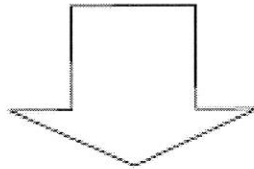
◆ 分科会

学習指導

部会

を簡潔にまとめてください。

1学期の成果 (○), 課題 (●) (2点ずつ程度)	2学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<p>○ 振り返りの充実を重視, 全教科で取り組んできた。</p> <p>○ 三角ロジックを取り入れ, 有効に活用できるようになってきた。</p> <p>● グループ学習がうまく進まないことがある。コミュニケーション能力不足もその要因の1つ。</p> <p>● アンケートを採った結果, 「授業がよく分かる」の項目で「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の回答の合計が各学年10%以上ある。</p>	<p>・ 困り感のある生徒が質問しやすいペアやグループ学習など, 効果的な手立てを考え, 取り入れていく。夏休み中の職員研修で協議予定。</p>



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

野里小

学校

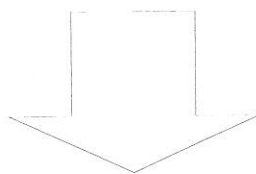
◆ 分科会

学習

部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果 (○), 課題 (●) (2点ずつ程度)	2学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<ul style="list-style-type: none">○ 筋道立てて物事を考えられるようにするために、校内研修のテーマに三角ロジックを掲げ、その実践方法について、じっくりと研修を進めることができた。○ 三角ロジックを全学年が授業で実践し、その実践報告を全職員で共有することで、課題や今後の方針を探ることができた。● 三角ロジックを日常的に授業の中で活用するまでには至っていない。● 昨年度まで力を入れていたふり返りについての共通理解が十分にできていなかった。	<ul style="list-style-type: none">・三角ロジックを活用する場について具体的に検討し、実践を積み重ねていく。・教師がファシリテーターとなり、問いの言葉を工夫しながら、三角ロジックを完成させられるように研修を進めていく。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

西原台小

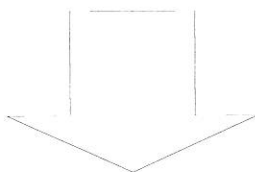
学校

◆ 分科会

学習指導

部会

1学期の成果 (○)、課題 (●)	2学期以降の具体的な取組等
<p>○ 「学業指導のしおり」について教育課程に載せることで、学びに向かう集団としての基礎を全校体制で整えることができた。</p> <p>○ 本校の課題を分析して、研究テーマや仮説を設定し、組織的に校内研修を進めることができた。</p> <p>● 1学期の校内研修では、研究の基礎を固めるために授業実践での検証を行うことができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 夏期休業中（8／21）にNRTの分析を行い、2学期以降の指導にいかしていく。・ 1学期から校内研修で進めてきたことについて、授業実践を通して検証していく・ 小・中一貫教育合同研修会で共通理解事項や取組事項が決まれば、取り組んでいく。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

鹿屋市立西原小

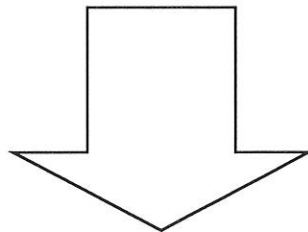
学校

◆ 分科会

学習指導 部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果（○），課題（●）（2点ずつ程度）	2学期以降の具体的な取組等（2点程度）
<ul style="list-style-type: none">○ 年度初めに全職員で「学力向上に係る共通実践事項」を確認するとともに、毎月の振り返りを数値化、実践内容を共有して改善を図っている。○ 6月に全家庭を対象として「家庭学習強調週間」を設定し、1週間の家庭での生活や学習の様子を記録、反省することで、実態把握に努めた。● 学力の二極化による乖離が大きく、一斉授業の中での対応が不十分である。● 家庭での学習習慣が定着していなかったり、内容が粗雑だったりする児童が見られる。	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校のテスト期間に合わせ、2学期の「家庭学習強調週間」の調整。（夏季合同研修会）・ 「学習のきまり」の再確認と保護者への周知、次年度への見直し。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

第一鹿屋中

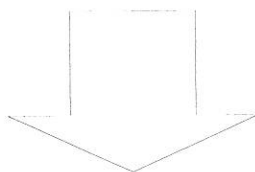
学校

◆ 分科会

生徒指導部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果（○），課題（●）（2点ずつ程度）	2学期以降の具体的な取組等（2点程度）
<p>○ 生徒会が中心となり校則の改定を行うことができた。</p> <p>○ 学校楽しいーと・学校生活アンケートを活用し、いじめの早期発見に努めた。</p> <p>● 中学生が小学生に行き、児童や先生方に迷惑をかけるケースがあった。</p> <p>● ガムやお菓子の包み紙が落ちていることが目立った。</p> <p>● 不登校生との増加</p>	<p>・ 同様のケースがあったら生徒指導主任または管理職で即連絡を取り合い、連携を図る。</p> <p>・ 保護者のための教育相談会（8／4）</p> <p>・ 夏休みの来校「夏休みの一歩」</p>



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

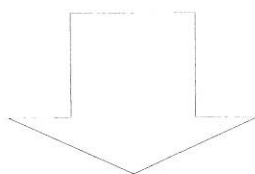
野里小 学校

◆ 分科会

生徒指導部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果 (○), 課題 (●) (2点ずつ程度)	2学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<p>○野里小では、PTAによる朝の立哨あいさつ指導を行っているので、元気のよいあいさつができるようになってきた。</p> <p>●本年度から、「歩いて登下校」を合い言葉にして推奨しているが、なかなか車で登下校が減っていない。</p> <p>●準備時間に廊下を走ったり、授業準備が遅れたりして、授業開始がスムーズにできていない。</p> <p>・不登校児童に対する取り組み</p>	<p>・2学期からは、自ら進んであいさつできるように校内外で指導していきたい。</p> <p>・1学期に標語を募集したので、集まった標語を旗にして校区内に設置していく予定である。</p> <p>・廊下歩行については、今後話し合いをもち、何か取り組み運動を実施したい。また、そのための他校の実践や共通実践していった方がよい取り組みがあれば実践していきたい。</p> <p>・2学期から iPad を持ち帰らせ、少しでも学校に近づけるような環境を整えたい。</p>



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

鹿屋市立西原台小学校

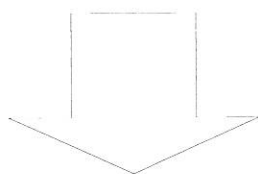
学校

◆ 分科会

生徒指導部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果（○）、課題（●）（2点ずつ程度）	2学期以降の具体的な取組等（2点程度）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校を休みがちの子や登校渋りが目立つ子については、心の教育推進会（月2回）で全職員が共通理解し、協力体制が図れた。 ○ 学年や隣接学級とも連携を取りながら、全職員で、気になる児童を見守る体制が取れた。 ● 不登校気味の児童の保護者へ担任から早めに連絡を取り、連携を図ろうとするが、保護者になかなか行動してもらえない。結局対応が遅れてしまう。 ● 自分の子どもの言うことのみを信じて、一方的に学校側へ苦情を言ってくるケースが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に対して、子育てに関する教育学級等の開催。（親が子どもと友だちのようになっている。子どもに嫌われたくない。そのような点を払拭し、親とは教育とは、子育てとは何かというテーマの話をしていく。） ・ 学校参観、授業参観の機会を増やし、家庭と学校の子どもの様子をしっかりと見れる機会をつくっていく。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

西原小

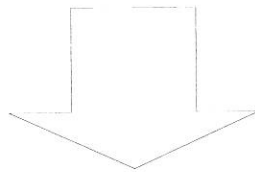
学校

◆ 分科会

生徒指導部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果 (○), 課題 (●) (2点ずつ程度)	2学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<ul style="list-style-type: none">○ 朝のボランティア活動を頑張ってくれる児童が増えた。(低学年児童も)○ 各種アンケート等を実施し、いじめや友人関係等の問題への未然防止に努めた。● 始業時刻を守らず、授業中に廊下へ出たり、空き教室に入ったりする児童がいる。● 靴隠しなど、他人の物を平気で触り、友達に迷惑をかける児童がいる。(金銭問題も)● 校外での一般的なルールやマナーが身に付いていない児童がいる。(下校後や休日)	<ul style="list-style-type: none">・・・ 2学期スタートからの学級経営の充実・ 担任と管理職, 生徒指導主任等(関係職員)との連携・ 夏季休業中の保護者との教育相談・ 対象児童の個別の教育相談による児童理解・ 学級活動や道徳の授業の充実・ 保護者への啓発



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

合同研修会出席者名簿

第一鹿屋中学校

※ 分科会は「学習指導A・B・C・D」「生活指導」のいずれかに振り分ける。

番号	氏名	分科会	懇親会 (○, ×)
1	本村 慎吾	生活指導	○
2	山内 翔	生活指導	○
3	好田 智紀	生活指導	○
4	瀨園 真也	生活指導	○
5	前田 栞奈	生活指導	
6	竹山 明子	生活指導	
7	中之内 友里	生活指導	
8	重久 あゆみ	学習指導A	
9	川原 美奈子	学習指導B	
10	岩下 真也	学習指導C	
11	福島 吾意子	学習指導D	
12	美坂 佐和子	学習指導A	
13	明石 浩久	学習指導B	
14	上吹越 邦和	学習指導C	
15	大塚 俊希	学習指導D	
16	後迫 春香	学習指導B	
17	大山 雅史	学習指導C	
18	小永吉 香里	学習指導D	
19	笹島 千愛	学習指導A	○
20	羽生 和子	学習指導B	
21	飯田 里美	学習指導C	
22	堀田 晃毅	学習指導D	○
23	開 貴大	学習指導A	
24	福盛 みゆき	学習指導B	
25	本城 健一	学習指導C	
26	前村 玲李	学習指導D	
27	中道 亜紀子	学習指導A	
28	川口 匡	学習指導B	
29	大迫 恵子	学習指導C	
30	吉之元 さおり	学習指導A	
31	森園 菜奈美	学習指導B	
32	大脇 史理	学習指導C	○
33	岡世 愛璃	学習指導D	

34	寺尾 好史	学習指導A	
35	中村 美輪	学習指導B	
36	樋園 拓真	学習指導C	
37	尾村 泰裕	学習指導D	○
38	下川 博	学習指導A	
39	瀬戸口 悟	学習指導B	
40	立元 昌徳	学習指導C	
41	赤瀬川 隆	学習指導D	
42	立山 佳人	初任研指導教員	○
43	吉岡 一徳	校長	○
44	川原 淳二	教頭	○

【合同研修会出席者名簿】

野里小	学校
-----	----

※ 分科会は「学習指導Ⅰ・Ⅱ」「生活指導」のいずれかに振り分ける。

番号	氏名	分科会	懇親会（○，×）
1	橋元 紀美香	学習指導	×
2	佐藤 彩音	学習指導	○
3	玉利 加那	学習指導	○
4	柳田 あかね	学習指導	×
5	脇門 雅功	学習指導	○
6	宮園 愛	学習指導	×
7	田畑 かおり	学習指導	×
8	南 昇子	学習指導	×
9	寺田 愛優	生徒指導	○
10	山口 潤一郎	生徒指導	○
11	下永 雄一	生徒指導	×
12	横山 昇子	生徒指導	×
13	有留 寿	生徒指導	×
14	長谷川 千夏	生徒指導	×
15	米村 英紀		○
16	川崎 哲史		○
17			
18			
19			
20			

【合同研修会出席者名簿】

西原台小	学校
------	----

※ 分科会は「学習指導Ⅰ・Ⅱ」「生活指導」のいずれかに振り分ける。学習指導Ⅱ（国，算，英，体）です。

番号	氏 名	分 科 会	懇親会（○，×）
1	田中 雄志	生活指導	
2	米盛 直		
3	東 怜沙	学習指導Ⅰ Ⅱ（保体）	
4	加連川美雪	生活指導	
5	上猶 竣介	学習指導Ⅰ	
6	富田 陽子	生活指導	
7	吉武 文乃	学習指導Ⅰ Ⅱ（国語）	
8	大崎 弘孝	学習指導Ⅰ	
9	山口 美子	学習指導Ⅰ Ⅱ（国語）	
10	久木田京子	学習指導Ⅰ	
11	埜中 稜真	学習指導Ⅰ	
12	神田 百枝	生活指導	
13	徳留華乃子	学習指導Ⅰ	
14	豊島 真也	学習指導Ⅰ	
15	中津 広志	学習指導Ⅰ	
16	永山 晴香	学習指導Ⅰ Ⅱ（英）	
17	前原 誠矢	生活指導	
18	中西 美鈴	学習指導Ⅰ Ⅱ（英）	
19	遠矢 眞文	学習指導Ⅰ Ⅱ（保体）	
20	牛ノ濱 啓資	学習指導Ⅰ Ⅱ（算）	

番号	氏名	分科会	懇親会 (○, ×)
21	池田 智彦	学習指導 I II (算)	
22	田中 千代美	学習指導 I	
23	吉松 順子	学習指導 I	
24	乾 博子	学習指導 I	
25	吉ヶ別符 さゆり	学習指導 I	
26	津曲 進	学習指導 I	
27	前平 勝巳	学習指導 I	
28	重久 礼子	学習指導 I	
29	持留 忠浩	生活指導	
30	新福 あい子	生活指導	
31	伊地知 学	学習指導 I	
32	瀬崎 りか	学習指導 I	
33	平野 浩二		
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

【合同研修会出席者名簿】

鹿屋市立西原小

学校

※ 分科会は「学習指導Ⅰ・Ⅱ」「生活指導」のいずれかに振り分ける。

番号	氏名	分科会	懇親会(○, ×)
1	小林 晋也		○
2	基永 強		○
3	井上 雅代	生徒指導Ⅰ	
4	鹿島 智子	学習指導 A	
5	徳永 幸子	生徒指導Ⅱ	○
6	釘田 康恵	生徒指導Ⅰ	
7	恒吉 夏樹	学習指導 B	
8	中鶴 かすみ	生徒指導Ⅱ	○
9	山下 舞子	生徒指導Ⅰ	○
10	上村 有佑	学習指導 C	○
11	川辺 さおり	生徒指導Ⅱ	
12	久田 克明	学習指導 D	○
13	山下 誠司	学習指導 A	○
14	山川 哲郎	生徒指導Ⅰ	○
15	真川 正浩	生徒指導Ⅱ	
16	田原 竜太	学習指導 B	○
17	今田 佳代	生徒指導Ⅰ	
18	関 孝和	生徒指導Ⅱ	
19	井上志津子	生徒指導Ⅰ	○
20	下村 麻美	学習指導 C	

番号	氏 名	分 科 会	懇親会 (○, ×)
21	小川 誠	学習指導 D	○
22	江口 玲子	学習指導 A	
23	川上 美代子	生徒指導 II	
24	谷村 浩晃	生徒指導 I	
25	久保田あみ	生徒指導 II	
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

令和5年度 第一鹿屋中学校

生活リズム確立における「3点固定」	
① 起床, 就寝, 家庭学習開始の3つの時刻を固定 ② メディア (ネット)の使用について	
取組内容	<p>1 起床, 就寝, 家庭学習開始の3つの時刻を固定について 1学期:「3点固定にチャレンジ!」アンケート (7/18) 2学期:「3点固定にチャレンジ!」チェック表を生徒会保健体育部により取り組む予定。</p> <p>2 メディア(ネット)利用について 1学期:「3点固定にチャレンジ!」アンケート (7/18)</p>
アンケート結果	<p>1 起床, 就寝, 家庭学習開始の3つの時刻を固定について (1) 7時までに起きることができなかった生徒が18%[98人] (内7時半~3%[14人]) (2) 23:00~に就寝した生徒が36%[199人] (内24:00~10%[56人]) (3) 家庭学習の開始時刻が守れなかった生徒が41% (4) 朝食を食べてきている生徒が93%(内1~2品62%[344人])</p> <p>2 メディア(ネット)利用について (1) メディアの使用時間, 2時間以上が53%[294人] (内3時間以上が28%[154人])</p>
課題	<p>1 起床, 就寝, 家庭学習開始の3つの時刻を固定について (1) 目標起床時間の設定が7:00~の生徒が5%[28人]おり, 体が目覚めないまま登校するのが当たり前になっているように思える。 (2) 目標就寝時間の設定が23:00~の生徒が12%[68人]おり, メディアとの関わりが設定時刻を遅らせているのではないかと考えられる。 (3) 家庭学習開始時刻が22:00~の生徒が5%[28人]おり, 睡眠不足や朝食抜きになるのではないかと考えられる。 (4) 朝食を食べてきている生徒の中でも, 炭水化物と飲み物や飲み物だけの生徒もいるのではないかと考えられる。</p> <p>2 メディア (ネット) 利用について (1) 3時間以上の生徒については, ネット依存症になっていないか心配される。</p>
今後の目標 (目指す生徒の姿)	
<p>1 最低でも1・2年生は7時間, 3年生は6時間の睡眠時間の確保と夜12時までには就寝すること。 2 家庭学習開始時刻が20:30までに設定。 3 メディアは午後9時オフと平日1時間以内。休日(2~3時間以内)</p>	
2・3学期及び来年度の実践	
取組内容	<p>1 生活実態調査を実施し, 課題のある生徒には学級担任が改善を指導する。(必要に応じて保護者とも連携を図る。)</p> <p>2 テスト期間と長期休業中には「3点固定の目標時間」を意識させたスケジュールを設定させ, 望ましい生活リズムづくりを行う。</p> <p>3 ①起床, 就寝, 家庭学習開始時間, 朝食の摂取と内容, ②メディア利用の時間と時刻について, 生徒に意識させるとともに, 保護者への啓発を図る。</p>

小中一貫教育「学習指導」部会における小中連携教科部会 事前作成資料

		課題（現状）	身につけて欲しい力（内容）
1	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあると思うが、話し合い学習がうまくできない。（知らない人と話せない。） ・学習時の姿勢が悪い。自分で考えることが苦手。説明（指示）をしっかりと聞き取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は司会進行の経験を積んで、対話的な活動が活発にできるようになってほしい。 ・1人で考えるときと話し合いのときの区別をつけられるようになってほしい。
2	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を苦手とする生徒が多い（2年生は歴史の方が関心が高い） ・意欲、関心を持つとうとしない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科＝「覚える」「暗記」となると苦手意識も強くなるので、地図や資料を活用しながら、話し合ったり考えたりする習慣をつけてほしい。 ・都道府県や県庁所在地は、特に力を入れて欲しい。
3	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ間違いを繰り返してしまう ・分数、小数の計算ミスが多い ・定規、コンパスの忘れ物が見られる ・計算力（入試の大問1） ・問題文の読解力 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えた問題の解き直しや、ミスの原因をきちんと追究する意味のある訂正を行う習慣 ・分数、小数の意味をきちんと理解させて欲しい。 ・定規、コンパスを筆箱に入れておく習慣 ・基本的なかけ算の力（ドリルでくり返し） ・反比例 ・問題をきちんと読む習慣
4	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科に苦手意識を持っている生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しむ心を大事にする。 ・興味・関心を大事にして欲しい。
5	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前(ローマ字)があやふやな生徒がいる。 ・5W1Hの意味をはっきり区別して理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前をヘボン式ローマ字でしっかり書いて欲しい。 ・5W1Hの意味、読み方を理解していて欲しい。 ※フォニックスを小中でどれくらいするのか揃えたい。 ※小学校の外国語授業で宿題を出しているのを知りたい。
6	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を読む力がある生徒とない生徒で格差があり、音楽科の授業において、読譜指導を行っているが、理解できない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符の名前拍数などを指導してほしい。 ・表現(歌唱・器楽)・鑑賞の授業で偏りのない指導を行ってほしい。
7	美術	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は絵が描けないと思い込んでいる。 ・絵の具に対する苦手意識が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識と努力で、誰でも自分の思うように絵は描けるという成功体験を味わわせてほしい。 ・絵の具の基本的な使い方を身に付けさせ、絵の具の楽しさや可能性に気付かせてほしい。
8	保体	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で差がある。話を聞けない、土いじり、石を投げるなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動（話を静かに聞く、土いじりや石を投げるなどしない） ・しつけの面
9	技術	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をする子が決まっている。 ・指示が一度で通らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図工に意欲的に取り組んで欲しい。 ・cmとmmなど、単位をしっかりと身に付けておいて欲しい。
10	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をする子が決まっている。 ・指示が一度で通らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉結び、玉どめがしっかりとできるようにして欲しい。 ・時間をかけコツコツ作ることの楽しさを身に付けて欲しい。